

追悼

郷倉和子展

— 梅花から悠久なるものとの対話へ —

会 期 平成29年4月29日(土・祝) ～ 5月28日(日)

※休館日／月曜日

会 場 滑川市立博物館 企画展示室1・2

開館時間／午前10時～午後6時(入場は5時30分まで)

※ただし、展覧会初日は午後2時より一般公開

入 場 料／一般 五〇〇円(20名以上の団体は三〇〇円)

※高校生以下、各種障がい者手帳お持ちの方(介助者1名含む)は無料

前 売 券／三〇〇円 4月上旬より博物館、滑川市民交流プラザ、エールで販売

主催／滑川市、滑川市教育委員会、北日本新聞社

共催／北日本放送

後援／射水市、富山シティエフエム、Net3

〔画業80年〕郷倉和子さんの画業

郷倉和子さんは大正3年に東京谷中で、日本美術院の同人である郷倉千鶴氏の長女として生まれました。両親が富山県出身であったため、和子さんも生涯を通して富山と深い縁で結ばれていました。昭和10年に女子美術専門学校を首席で卒業され、翌年院展に初入選するなど順風満帆のように見えていましたが、生来の才能とは別に父が高名な画家であったため他人には窺い知れない苦勞もあったようです。また、第二次世界大戦後の西欧美術一辺倒の風潮の中にあって、自らの独自性を打ち出すために苦勞を重ねられました。

その後、約40年間の暗中模索の期間を経て、梅花に出会われたのは昭和60年、70歳近くになってからです。その後30年間にわたって梅花一筋に描き続けられ平成9年に日本芸術院会員、平成14年には文化功勞者として顕彰されます。

本展では特に、画家として最も感性の研ぎ澄まされた平成2年頃から、平成28年4月に101歳で逝去されるまでの梅花シリーズの中から代表作品35点を取り上げ、美しい日本の四季の移ろいの中に人生をみつめてきた郷倉さんの、梅花を通して悠久なるものとの対話を試みた独自の世界を紹介します。



イベント

記念対談 4月29日(土・祝) 午後2時30分
博物館ガイダンスルーム
「母、郷倉和子の生涯」(郷倉伸人氏 × 福井博物館相談役)

講演会 5月6日(土) 同月20日(土) 午後2時30分より
博物館ガイダンスルーム
「郷倉和子の画業」(福井博物館相談役)

※いずれも聴講無料

入場料・休館日等

入場料 一般500円(20名以上の団体は300円)
※高校生以下、各種障がい者手帳お持ちの方(介助者1名含む)は無料

開館時間 午前10時～午後6時(入場は5時30分まで)
※ただし、展覧会初日は午後2時より一般公開

休館日 月曜日

《協賛》(株)アイザック、(株)廣貫堂、広進工業(株)、(株)公生社、(株)澤田製作所
(株)サブリ、(有)三愛、(株)山英システムエンジニアリング、三越通信工業(株)、三晶MEC(株)
三晶技研(株)、(有)サンビソウ、(株)サンフーズ、(株)ツアーズジャパン、東邦工業(株)・伸和工業(株)
滑川市金融会、滑川市立博物館友の会、日医工(株)、(株)広野商会、富士ゼロックス
北陸建工グループ、(株)星名産業、(株)マシンテック、(株)水口熱処理、YKK AP(株) (五十音順)

(本展の開催にあたり、上記の方々に協賛いただきました。
その他、お名前を記することのできなかった方々に深く感謝いたします。)

自筆色紙プレゼント

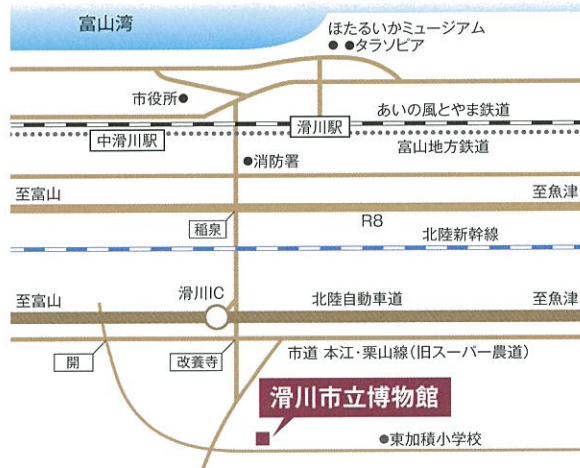
会期中、展覧会を鑑賞いただいた方の中から抽選で、郷倉和子さん直筆の色紙を2名様にプレゼントします。

※当選発表は5月下旬頃に行います。

(当選者には博物館から連絡します。贈呈式は博物館で行います。)



「春に舞ふ」(平成22年)



●自動車/北陸自動車道・滑川インターチェンジを
右折約2分。国道8号線・稲泉交差点から約7分